

高温続く！「間断かん水」「飽水管理」で根の活力を維持！ 斑点米カメムシ類の発生量多い！草刈りの徹底で密度低減！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎生育概況

7月10日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、平年と比べて草丈は長く、茎数は少なく、葉数はやや多く、葉色はやや淡くなっています。県の試験研究機関の調査圃場の出穂期は、「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」のいずれも、平年より早まる予想です。

平坦部「はえぬき」の生育（7月10日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈 (cm)	65.4	60.9	107 長い
茎数 (本/m ²)	567	626	90 少ない
葉数 (枚)	10.9	10.6	+0.3 やや多い
葉色 (SPAD)	41.0	42.7	-1.7 やや淡い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

予想出穂期（農業総合研究センター調べ）

品種名	場所	出穂期	
		予想	平年※
はえぬき	山形市	7/30(-3)	8/2
	鶴岡市	7/30(-1)	7/31
雪若丸	山形市	7/29(-3)	8/1
	鶴岡市	7/30(-2)	8/1
つや姫	山形市	8/6(-2)	8/8
	鶴岡市	8/7(-1)	8/8

※過去7か年（H30～R6）の平均値

カッコ内は平年との差

山形市：7月8日現在、鶴岡市：7月10日現在

◎当面の技術対策

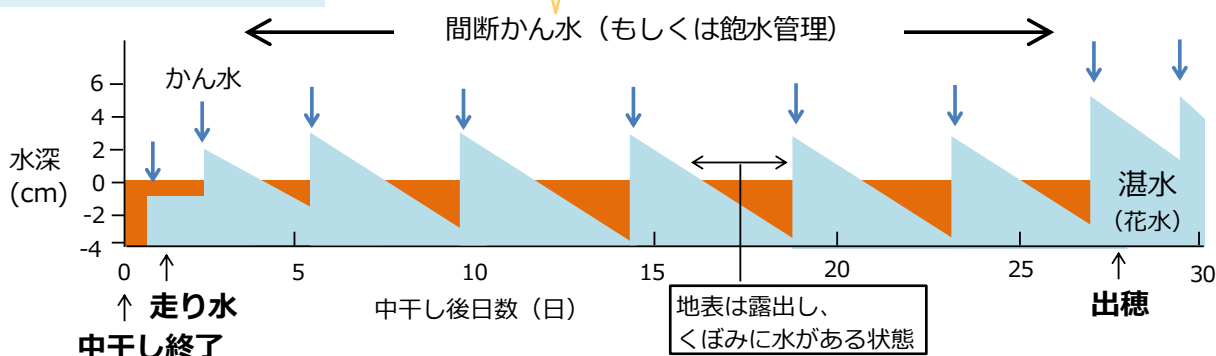
6月中旬からかなりの高温で推移していますが、7月10日発表の1か月予報（7月12日～8月11日）によると、今後も、平年に比べて高温で推移する見込みです。水管理を徹底して、イネの根をしっかりと張らせましょう。

（1）中干し後の「水のためっぱなし」は厳禁！

中干し終了後は、間断かん水もしくは飽水管理を行いましょう。間断かん水を行うことで土壌を酸化的に維持し、根の活力を維持することができます。

水管理のイメージ

間断かん水で、根の伸長が促進されます！



(2) ケイ酸施用はいいことづくめ！

ケイ酸は、光合成促進や根の伸長促進、窒素吸収量を増加させる等の効果があるため、高温の影響を軽減することが期待できます。水口施用の資材等を積極的に活用して、暑さに負けない体づくりを進めましょう。

(3) 斑点米カメムシ類の発生量は多い！ ～畦畔、法面、農道の除草を徹底～

斑点米カメムシ類の発生量は平年に比べて多く、7月2日付けで注意報が発表されています。畦畔、法面、農道、休耕田等で雑草が繁茂しているところでは、出穂2週間前頃までに地域全体で草刈り等の除草対策を徹底し、今後の斑点米カメムシ類の増殖を抑制しましょう。また、主要な斑点米カメムシ類である「アカスジカスミカメ」はノビエやホタルイ等に産卵して増殖するので、本田の残草対策も万全に行います。

(4) 葉いもちの発生が確認されています ～早期発見・早期防除～

7月8、9日の病害虫防除所の調査では、複数の圃場で葉いもちの発生が確認されています。圃場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底しましょう。

つや姫 の生育と技術対策

7月10日現在の「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈は長く、茎数は少なく、葉数はやや多く、葉色は淡くなっています。出穂期は8月6日頃の予想で、既に穂肥施用の適期となっています。直ちに生育診断を行って、しっかり穂肥を施用しましょう。

「つや姫」の生育（7月10日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈（cm）	68.7	62.0	111	長い
茎数（本/㎡）	510	568	90	少ない
葉数（枚）	10.8	10.5	+0.3	やや多い
葉色（SPAD）	36.9	40.2	-3.3	淡い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

7月20日生育指標

項目	内陸	庄内
草丈（cm）	70	64
茎数（本/㎡）	460	520
葉数（枚）	11.2	
葉色（SPAD）	36	

地域全体に用水が行き渡るように関係者でよく話し合い、限りある用水を効率的に利用しましょう

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

農薬危害防止運動実施中

